



広島県支部会報



平成29年1月10日 発行

第84号



あけましておめでとうございます。

支部会員の皆さまにおかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。早いもので、平成20年の広島県支部長就任以来、9回目の新年を迎えることができました。

これまで、日本防災士会広島県支部を支えていただきました支部会員の皆さまには様々な取り組みを行っていただき、改めて感謝の気持ちでいっぱいでございます。

振り返りますと、地域に密着した防災活動を通じて、広島の安心・安全なまちづくりの実現をめざし、幅広い分野で「防災士」を地域や職場に広め、防災力の向上を実現してまいりました。

来年の事を言えば鬼が笑うといいますが、支部発足10周年を迎えます。

そのために、引き続き一層質の高い組織として基盤作りを続けるよう会員の皆さまの支部に対する深いご理解と温かいご支援をお願い申し上げます。



2017年(平成29年)元旦

日本防災士会広島県支部長 箱上 恵吾

～日本防災士会スキルアップ研修会が開かれました～

平成28年12月17日(土曜日) 13時～16時、広島市中区のJMSアステールプラザに於いて橋本統括(講師)による「タイムラインの考え方による住民の災害対応訓練」が実施されました。

遠くは、富山県、愛知県、岐阜県、大阪市、兵庫県、福岡県、佐賀県、徳島県、高知県、岡山県、山口県、島根県の皆さまと広島県支部の皆さん合計51名のご参加をいただきました。


タイムラインとは？

定義:事前防災行動計画

災害が発生することを前提として、関係者が事前にとるべき行動を「いつ」「だれが」「何をやるか」に着目して時系列で整理したもの

「タイムライン」の典型例として、ニューヨーク地下鉄はハリケーン・サンディ(2012年)の上陸1日前に、乗客に事前予告したうえで地下鉄の運行を停止したことを示した。浸水被害は生じたが、最短2日で一部区間の運行が再開された。また、ニューヨーク証券取引所も上陸前に休場を決定している。ニュージャージー州では上陸の36時間前に州知事が住民に避難を呼びかけた。

写真:ウィキメディア




【活動だより】特集！

～「東広島市2016 消防・防災フェア」へ

東広島市防災士ネットワークが参加～



広島県「みんなで減災」はじめての一步

2016年11月06日(日)10時～15時に実施された「東広島市2016 消防・防災フェア」に参加し、東広島市消防局庁舎3階の防災センターで、ポスター展示と工作・体験コーナーを担当しました。

ポスター展示では、耐震対策や情報収集の方法、防災士の地域での活動内容を紹介し、工作・体験コーナーでは、ビニール袋レインコートや新聞紙スリッパの作成のほか消防機材の体験をしていただき、想像以上に好評でした。

また、メインステージでは、防災士会のジャンパーを着て司会進行役もつとめ、消防士が結成した「住警器戦隊かえるンジャー」と一緒に、約3千300人の来場者の皆さんと一緒に楽しく防火・防災について学びました。
(FM東広島 井上葉子)



【写真コーナー】



お知らせ！

- ・会員のみなさんで「日本防災士会ハンドブック」をまだ受取っていない方があるようです。
 - ・各ブロック長さんに問い合わせてみてください。
- ※正会員のための配布となっています。

(あしがき)

- ・新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。
- ・訓練、講習会(計画・結果)など支部会報に掲載したいと思いますので、お知らせください。

《連絡先アドレス👉》

med911@sky.megaegg.ne.jp

(広報担当: 宮永)